

令和元年度 教職員自己評価・保護者アンケート・児童アンケート集計結果

評価基準 4段階評価（E：わからない・無回答）

平均 A：4， B：3， C：2， D：1と点数化して表記 ※教職員自己評価は評価基準を変更

経年比較 今年度平均値を平成30年度・平成29年度と比較し百分率で表記

1 「できた」「わかった」を実感できる授業実践・授業改善

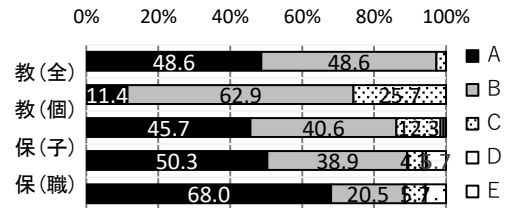
教職員：児童が「できた」「わかった」を実感できる授業を行っている。

保護者：（子どもは）授業を通して学んだことが身に付いている。

：（教職員は）学力を高める授業や取組を行っている。

児童：毎日の授業はわかりやすいですか。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	48.6	48.6	2.7	0.0	0.0	97.3	3.5	-9.1%	-7.3%
教職員(個人)	11.4	62.9	25.7	0.0	0.0	74.3	2.9	-14.8%	-11.2%
保護者(子供)	45.7	40.6	12.3	0.8	0.7	86.2	3.3	0.5%	-0.6%
保護者(職員)	50.3	38.9	4.3	0.8	5.7	89.2	3.5	-0.6%	-0.5%
児童	68.0	20.5	5.7	5.7	0.0	88.5	3.5	-1.0%	0.6%



自己評価(個人評価)においてC評価が25%超、若手がこの層の中心。「働き方改革」を踏まえつつ、新たな研修時間の創出、体制の工夫が必要。

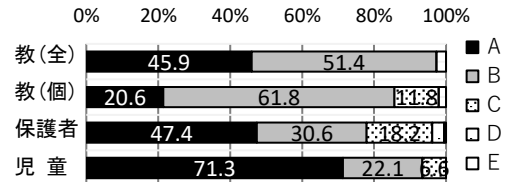
2 家庭と連携した学習習慣定着の取組

教職員：家庭と連携して継続した家庭学習の定着に取り組んでいる。

保護者：子どもに家庭学習の習慣が身に付いている。

児童：毎日家庭学習に取り組んでいますか。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	45.9	51.4	0.0	0.0	2.7	97.3	3.5	-11.3%	-8.1%
教職員(個人)	20.6	61.8	11.8	0.0	2.0	82.4	3.1	-16.2%	-12.8%
保護者	47.4	30.6	18.2	3.3	0.6	78.0	3.2	1.5%	-0.5%
児童	71.3	22.1	6.6	0.0	0.0	93.4	3.6	2.9%	2.4%



保護者、児童による評価には幅があることから、家庭や児童の実態に応じ取組が進められるよう、改めて具体的な提案が必要。

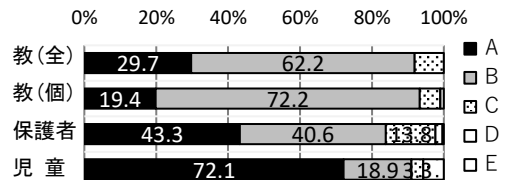
3 あいさつや正しい言葉遣いの定着

教職員：場に応じたあいさつや正しい言葉遣いの定着を図っている。

保護者：子どもはきちんとあいさつができています。

児童：元気にあいさつしていますか。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	29.7	62.2	8.1	0.0	0.0	91.9	3.2	-12.7%	-4.6%
教職員(個人)	19.4	72.2	5.6	0.0	1.0	91.7	3.1	-9.9%	-3.9%
保護者	43.3	40.6	13.8	1.9	0.4	83.9	3.3	1.8%	1.7%
児童	72.1	18.9	3.3	5.7	0.0	91.0	3.6	3.1%	4.0%

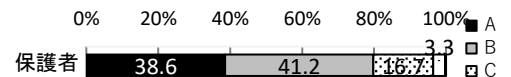


児童会活動でも積極的な取組がなされた。その効果もあつてか保護者の評価結果はやや改善している。継続的に取組を進めることとしたい。

4 【保護者】生活習慣の確立

保護者：規則正しい生活習慣が身に付いている。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
保護者	38.6	41.2	16.7	3.3	0.3	79.8	3.2	—	—



肯定的評価は8割程度あるが、他の項目と比してやや評価が低く出ている。家庭での取組を支援、啓発する策が必要。

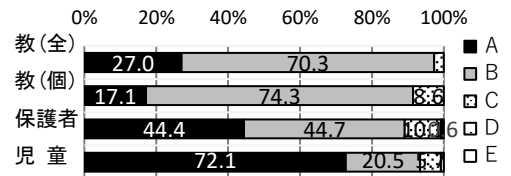
5 他人を思いやり助け合う気持ちの陶冶

教職員：学校生活全体を通して、他人を思いやり、助け合う気持ちを育てている。

保護者：子どもに思いやりの気持ちが育っている。

児童：みんなにやさしくしていますか。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	27.0	70.3	2.7	0.0	0.0	97.3	3.2	-10.2%	-4.5%
教職員(個人)	17.1	74.3	8.6	0.0	0.0	91.4	3.1	-13.4%	-5.8%
保護者	44.4	44.7	10.1	0.3	0.6	89.1	3.3	4.8%	4.0%
児童	72.1	20.5	5.7	0.8	0.0	92.6	3.7	7.7%	6.8%



職員の肯定的評価は高いものの、「A」評価の割合は低めである。また、保護者の評価は昨年度に比し5%程度向上しているが、学級間で格差も見られる。

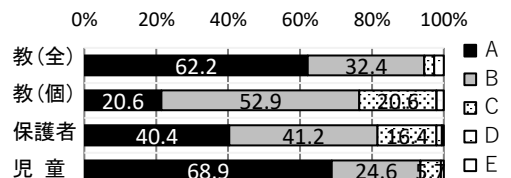
6 学習規律・生活規律（拓進スタンダード）の徹底

教職員：「拓進スタンダード」に基づき、指導を徹底している。

保護者：子どもは学校のきまりや家の約束事を守って生活している。

児童：学習や生活のきまりをきちんと守っていますか。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	62.2	32.4	2.7	2.7	0.0	94.6	3.5	-9.6%	-5.9%
教職員(個人)	20.6	52.9	20.6	0.0	2.0	73.5	3.0	-20.4%	-14.9%
保護者	40.4	41.2	16.4	1.5	0.6	81.5	3.2	-1.1%	-1.1%
児童	68.9	24.6	5.7	0.8	0.0	93.4	3.6	0.3%	1.9%



自己評価(個人評価)のC評価が20%超。改めて全職員での共有が必要か。併せて、内容の精査、周知プリントの改訂等実施も。

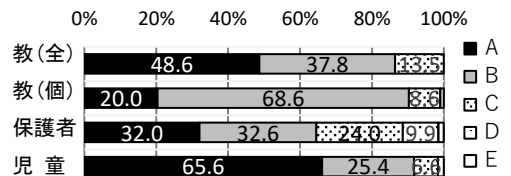
7 読書指導の推進・読書習慣の定着

教職員：読書環境の整備や朝読書の充実により、読書に興味をもたせ読書習慣の定着を図っている。

保護者：子どもに読書に親しむ習慣が身に付いている。※H30迄は学校の取組について質問

児童：家や学校でたくさん本を読んでいますか。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	48.6	37.8	13.5	0.0	0.0	86.5	3.4	-14.3%	-15.6%
教職員(個人)	20.0	68.6	8.6	0.0	1.0	88.6	3.1	-9.2%	-8.8%
保護者	32.0	32.6	24.0	9.9	1.5	64.6	2.9	—	—
児童	65.6	25.4	6.6	1.6	0.0	91.0	3.6	1.5%	0.0%



学校では保護者ボランティアの参画も得て様々な取組がなされているが、本に親しむ習慣が不十分な児童も少なからずいることがうかがえる。個に応じ支援する今年度の取組継続が必要。

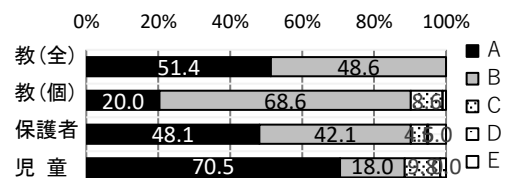
8 体力づくりの推進・体力向上

教職員：体育の授業改善や体力づくりの推進を通して、児童の体力向上を図っている。

保護者：学校は体育の授業や体力づくりを通して、体力向上を図っている。

児童：進んで運動していますか。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	51.4	48.6	0.0	0.0	0.0	100.0	3.5	-10.3%	-7.2%
教職員(個人)	20.0	68.6	8.6	0.0	1.0	88.6	3.1	-9.6%	-5.9%
保護者	48.1	42.1	4.6	0.3	5.0	90.2	3.5	-0.7%	-1.5%
児童	70.5	18.0	9.8	1.6	0.0	88.5	3.6	0.2%	0.8%



児童の体力は概ね向上傾向にあるが、「投能力」や「持久力」等に課題もあり。今後も日常的で重点を置いた取組の継続が必要。

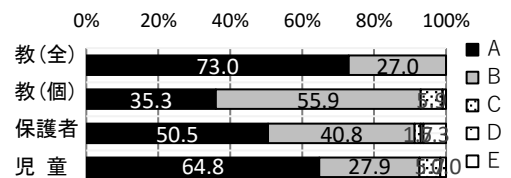
9 道徳授業の充実

教職員：道徳授業の充実を図っている。

保護者：学校は道徳の授業や日常的な実践を通して、道徳教育の充実を図っている。

児童：道徳の授業で考えたことをふだんの生活に生かしていますか。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	73.0	27.0	0.0	0.0	0.0	100.0	3.7	-4.9%	-2.4%
教職員(個人)	35.3	55.9	5.9	0.0	1.0	91.2	3.3	-6.0%	-3.0%
保護者	50.5	40.8	1.7	0.7	6.3	91.3	3.5	-0.4%	-0.4%
児童	64.8	27.9	5.7	1.6	0.0	92.6	3.6	0.6%	3.6%



「道徳の日」の設定や参観日での授業公開等、道徳指導の充実を図ってきた。今後も通信等を通じて、保護者に取組の内容やその成果を継続的に発信していく必要がある。

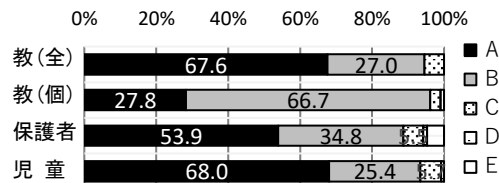
10 子どもや保護者の相談への対応

教職員：児童や保護者の相談、児童の問題等へ適切に対応している。

保護者：学校は子どもや保護者の相談に適切に対応している。

児童：困ったことや悩みごとがあるときには、先生が相談のつてくれますか。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	67.6	27.0	5.4	0.0	0.0	94.6	3.6	-5.7%	-2.4%
教職員(個人)	27.8	66.7	2.8	0.0	1.0	94.4	3.3	-10.5%	-5.4%
保護者	53.9	34.8	5.5	1.1	4.7	88.7	3.5	2.1%	3.1%
児童	68.0	25.4	5.7	0.8	0.0	93.4	3.6	-0.1%	0.5%



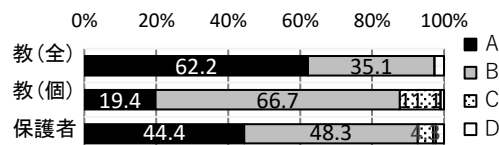
保護者の評価は向上しているが児童の評価はダウンしており、改善が必要。計画的取組と日常的取組の双方を整理し実施することが必要。

11 教育方針や取組事項をわかりやすく伝えている

教職員：参観日等を通して、保護者や地域に本校の教育方針や取組事項についてわかりやすく伝えている。

保護者：学校は教育方針や年度の重点取組事項をわかりやすく伝えている。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	62.2	35.1	0.0	0.0	2.7	97.3	3.6	-8.4%	-5.2%
教職員(個人)	19.4	66.7	11.1	0.0	1.0	86.1	3.1	-18.0%	-8.6%
保護者	44.4	48.3	4.3	0.7	2.3	92.7	3.4	0.1%	1.4%



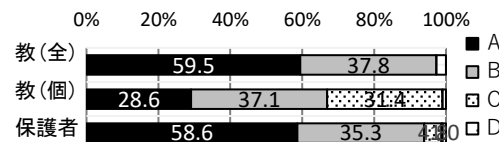
本校教育方針や重点取組事項等については、参観日の懇談や学校だより等を通してお伝えした。今後もそうした機会を確保し、保護者・地域の方々と連携した指導を行うことができるよう取り組みたい。

12 学校・学年・学級便り等を通じた情報発信

教職員：学校・学年・学級だより等を通して、児童の様子を積極的に発信している。

保護者：学校は学校・学年・学級だより等を通して、学校生活の様子を伝えている。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	59.5	37.8	0.0	0.0	2.7	97.3	3.6	-7.2%	-2.0%
教職員(個人)	28.6	37.1	31.4	0.0	1.0	65.7	3.0	-12.2%	-6.4%
保護者	58.6	35.3	4.8	0.3	1.0	93.9	3.5	0.4%	1.2%



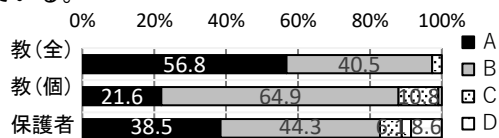
学級だよりの発行回数等、学級間の違いが小さくないことを指摘する保護者の感想記述あり。自己評価(個人評価)のC評価も30%超に。無理のない範囲内で目安(最低目標等)をもつことも検討。

13 児童の特性や発達上の課題に応じた対応・支援

教職員：子ども一人一人の特性や発達上の課題に応じた対応や支援を行っている。

保護者：学校は子ども一人一人の特性や発達上の課題に応じた支援を行っている。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	56.8	40.5	2.7	0.0	0.0	97.3	3.5	-9.0%	-4.6%
教職員(個人)	21.6	64.9	10.8	0.0	1.0	86.5	3.1	-17.6%	-4.5%
保護者	38.5	44.3	6.1	2.6	8.6	82.8	3.3	-0.9%	-0.5%



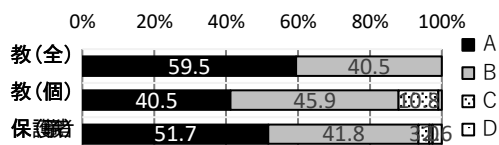
保護者から啓発学習について評価する旨の声が複数ある。今後も具体的方策をもって積極的な情報発信に努めたい。職員についてはやや評価が低下。支援体制等改めて確認が必要。

14 登下校の安全・災害や事故等の際の適切な対応

教職員：学校安全計画に基づき登下校の安全等に適切な対応を図っている。

保護者：学校は子ども達の安全確保や健康について配慮している。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	59.5	40.5	0.0	0.0	0.0	100.0	3.6	-8.3%	-2.0%
教職員(個人)	40.5	45.9	10.8	0.0	1.0	86.5	3.3	-10.6%	-2.5%
保護者	51.7	41.8	3.0	0.8	2.6	93.5	3.5	3.4%	3.0%



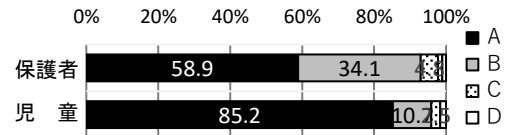
「緊急時児童引き取り訓練」や「津波想定避難訓練」等、取組の内容を充実させてきている。登下校時の安全確保については、取組の充実と保護者へのアピールが必要。

1.5 学校生活

保護者：子どもは学校生活が楽しそうである。

児童：学校は楽しいですか。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
保護者	58.9	34.1	4.8	1.1	1.1	93.0	3.5	—	—
児童	85.2	10.7	2.5	1.6	0.0	95.9	3.8	4.7%	4.9%

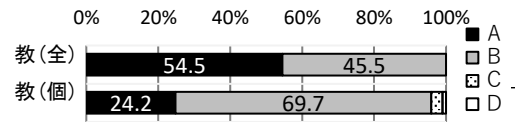


概ね良好な回答ではあったが、学校が「楽しくない」と回答した児童も1割超えることを重く受け止め、どの子どもも「学校が楽しい」と感じてくれるよう、更なる取組の充実を図っていく必要がある。

1.6【教職員】不登校対策

教職員：不登校の未然防止に取り組んでいる。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0	100.0	3.5	-10.1%	-7.5%
教職員(個人)	24.2	69.7	3.0	0.0	1.0	93.9	3.2	-14.7%	-11.0%

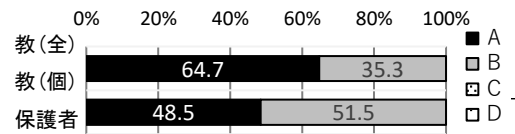


児童の心に寄り添い、温かく支援する取組の継続が不可欠であると考え、校内外での連携を重視し、重点的に取り組んでいく必要がある。

1.7【教職員】いじめ問題対策

教職員：いじめの未然防止に取り組んでいる。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	64.7	35.3	0.0	0.0	0.0	100.0	3.6	-8.2%	-4.3%
教職員(個人)	48.5	51.5	0.0	0.0	0.0	100.0	3.5	-11.5%	0.7%

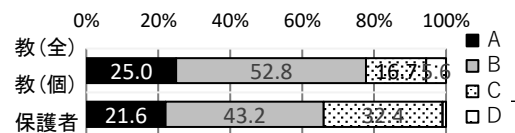


「いじめは絶対に許されないこと」という意識をもたせるため、児童会活動等も含めあらゆる場面で取組を進めている。今後も日常的な意識付け、取組を継続する必要がある。

1.8【教職員】働き方改革

教職員：働き方改革を積極的に推進している。

	A	B	C	D	E	A+B	平均	H30比	H29比
教職員(全体)	25.0	52.8	16.7	5.6	0.0	77.8	3.0	—	—
教職員(個人)	21.6	43.2	32.4	0.0	1.0	64.9	2.9	—	—



改善が必要である事は結果からも明らかに。各種取組の機能を改善させながらも精査、改善をし、「超過勤務年間360時間以内」を具現化させるべく、効果的で且つ実現可能な具体策をもって取組を進めたい。

【保護者アンケート記述事項から】

〈学習指導について〉

- 子どもの理解度に応じて指導しているのが良い。
- 取組により、自分から積極的に家庭学習を行う習慣が身に付いてきている。 ※複数
- 学習内容が理解できないまま授業が進んでいくことがある。理解できるまで指導してほしい。
- 体験的学習（美術館、科学館見学等）も家庭学習の時間として認めては。

〈体力向上について〉

- 「チャレンジカード」等を用いて意欲を喚起する取組が良かった。
- 休み時間の縄跳び等、日常的に運動する機会を確保してほしい。

〈生活指導等について〉

- 児童のあいさつがよく聞かれるようになった。大変良い。
- 児童のトラブル等について、対応をお願いしたこと、相談したことには結果を報告してほしい。

〈特別支援教育の充実について〉

- 啓発学習の様子を参観日で見ることができて良かった。継続を希望する。 ※複数
- 通級指導教室の学習についてももう少し情報が欲しい。

〈学校行事について〉

- （音楽発表会について）音楽の発表だけではなく、演劇も取り入れてほしい。 ※複数
- 運動会は午前中で終わるようにしてほしい。

〈学校からの情報発信について〉

- お便りで学校の様子をよく知ることができる。 ※複数
- 学校の取り組みや教育方針もこまめに教えてくれているので分かりやすい。
- 学級の様子等、細かにお便り等で知らせてほしい。

〈安全指導について〉

- 10月の帰宅時刻が17時というのは遅いように感じる。もう少し早い時刻に設定してほしい。
- 雨の日などは送迎の車で学校周辺が大変混雑し、危険である。車での送迎を禁止にしてほしい。

〈その他〉

- オープンスクールでの全校合唱が良い。継続してほしい。 ※複数
- カバンがとても重いので、家庭学習に必要なものは学校保管してほしい。
- インフルエンザの感染状況について、該当学級以外にも広く知らせてほしい。
- 校外活動の活躍をもっと取り上げてほしい。
- 水泳やスケート学習の際、保護者の手伝いをもっと募ってほしい。様子も見られるので。